

平成31年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：33004

学校名：福移中学校

改訂のポイント

- 小規模校のメリットをさらに生かし、一人一人により丁寧できめ細かな対応をする。
- 全校で統一した手帳を活用し、主体的に生活リズムを整えさせ、学習の習慣化を図る。
- 主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、小中連携を意識した授業の構築を図る。

※本校は少人数のため、全体の傾向ではなく個々の特性に着目・対応するため%表示は控え

項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	『主体的に学ぶ子ども』・・・9年間の学びのプログラムを通して以下の6つの力を大切にしながら自ら学ぶ子どもを目指す ☆自ら進んで取り組む力(主体性) ☆自分らしく表現する力(創造性) ☆問題を解決する力(問題解決力) ☆友達と協力する力(協働性) ☆自分で決める力(自己決定力) ☆自分を伸ばす力(自己成長力)		
「学ぶ力」に関する成果や課題	学ぶ意欲	【昨年度の具体的な取組】 ・数学と英語で少人数指導(TT)指導を行い、自ら学ぶ意欲の向上を目指した。 ・タブレットを導入し、課題探究学習を取り入れた授業を行い、学ぶ意欲を高めた。 ・小中合同の授業や連携した授業を構築し、学びの系統性を高めた。	【成果】 ⇒生徒アンケートで、肯定的な回答が増えたもの 「進んで学習に取り組んでいる」 「勉強しておもしろい、楽しい」 「わからないことは自分で調べてはっきりさせる」 「学校で好きな授業がある」	【課題】 ・「計画を立てて勉強している」 手帳の効果的な活用を図り、家庭学習を充実させ、学習習慣の定着を図る。 ・「学校は成長を実感できる場所」 肯定的な回答がすべてに近づくようにきめ細かな対応をさらに進める。
	思考力・判断力・表現力等	【昨年度の具体的な取組】 ・総合的な学習[ポロカル]で、各自が課題を見つけ検証し解決することができるように、その方法や筋道を考えさせる課題探究学習を行った。 ・普段の授業において、発言する機会をつくり、交流する場面を意識して設定した。	【成果】 ⇒生徒アンケートで、肯定的な回答が増えたもの 「わからないことは自分で調べて、はっきりさせようとしている」 「意見の違う人とも、良く話し合おうとしている」 「自分の考えがうまく伝わるように、話の内容や順序を考えている」	【課題】 ・「授業中、自分の意見を進んで発言している」に肯定的な回答が低いので、発問の工夫や発言の機会を増やす。 ・「より良い学校生活に向けて自ら考えて行動することができた」という実感を全員が感じられるようにしていく。
	基礎的・基本的な知識及び技能	【昨年度の具体的な取組】 ・朝読書の時間の有効活用や、テスト前の放課後学習、欠席生徒への補充授業等を行った。 ・週末に課題を出し、基礎的・基本的な知識の定着と同時に学習習慣の定着を図った。	【成果】 ⇒小テスト、単元テストなどに成果が現れてきた。	【課題】 ・「新しく習ったことをくり返し練習」や「同じ間違いをくり返さないように気をつける」の伸び悩んでいるので、基礎・基本の定着を図る。
今年度の改善策(取組)	取組の最重点	【取組の共有】 ・手帳を有効活用し自己管理ができる生徒の育成(生活リズム・学習の習慣化) ～継続3年目 ・主体的・対話的で深い学びの実現と小中連携を意識した授業を構築していく		
	具体的な改善策(取組)	○課題探究的な学習を取り入れた授業づくりをさらに進める。 ○指導法を含めた指導者の事前学習を行うことで、ポロカルの充実を図り、思考力・判断力・表現力等の育成を行う。 ○個々の能力にあったきめ細かな指導を充実させるとともに、少人数を生かし、あらゆる機会を通して自立を促す取組を行う。 ○少人数を生かして、授業や行事も含めてあらゆる機会を通して自ら動く場面を設定する。		
検証の方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	○札幌市全体の共通指標(子どもの自己評価)の活用 ○全国学力・学習状況調査や学校評価等で行った独自の調査結果の活用 ○北海道チャレンジテストなどの各種テスト結果の活用		

